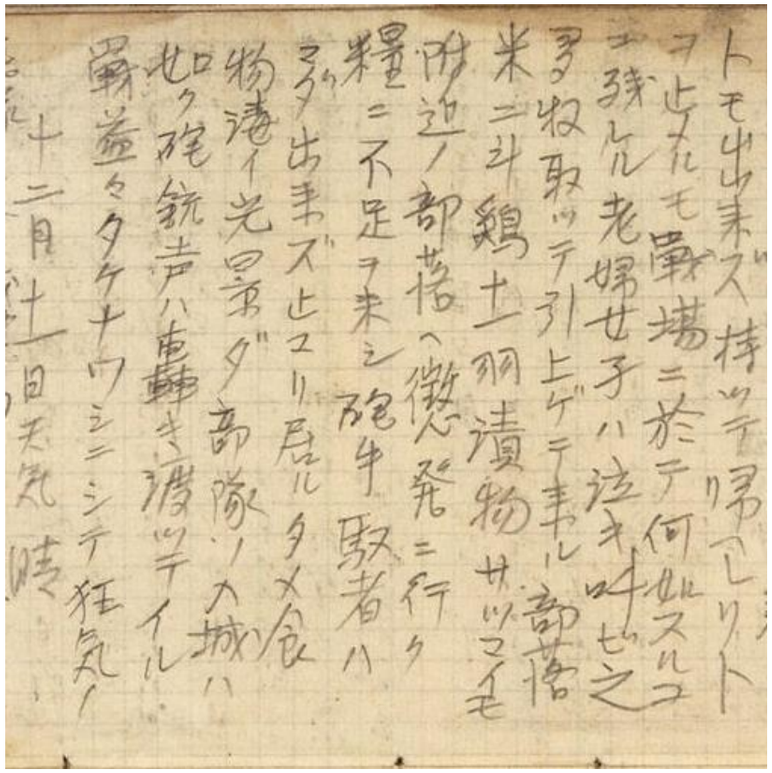
日中戦争従軍兵の日記



1937 年（昭和 12）「（山砲兵分隊長滝本孝之陣中日記）」
滝本嘉博家文書（当館蔵）デジタルアーカイブへ

十二月十一日　天気晴

戦益たけなわにして、狂気の如く砲銃声は轟き渡っている。物凄い光景だ。部隊の入城はまだ出来ず止まり居るため食糧に不足を来し砲手・馭者は附近の部落へ懲発に行く。米二斗・鶏十一羽・漬物・サツマイモ多数取って引上げて来る。部落に残れる老婦女子は泣き叫び之を止めるも、戦場に於て何処（如何）することも出来ず、持って帰へれりと。

※資料原文は左から右に記述されています

解 説

1937 年（昭 12）7 月 7 日深夜から翌 8 日未明にかけて、北京郊外の盧溝橋付近で日中両軍の衝突がおきました（盧溝橋事件）。近衛文麿内閣は、いったんは不拡大声明を発したものの、軍部の圧力に抗しきれず華北派兵を行いました。中国の国民政府側も抗戦姿勢を崩さず、当初の日本の予想を超えた全面戦争に突入しました（**日中戦争**）。

その後 8 月には戦火が上海に飛火（第二次上海事変）し、さらに華中へも戦線が拡大しています。9 月には第二次国共合作により抗日統一民族戦線が成立します。

日本軍は大軍を投入し、国民政府の首都である南京を占領しましたが、国民政府は漢口から重慶へと退き、抗戦を続けました。戦争の長期化を危惧した近衛内閣は「国民政府を対手とせず」「東亜新秩序」「善隣友好・共同防共・経済連携」などの声明を行い、1940 年（昭和 15）には南京に汪兆銘を首班とする傀儡政権を成立させましたが、戦争終結には至りませんでした。

福井とのかかわり

日中戦争の開始に対して、国民の多くは戦争を支持しました。県下各地でも国威宣揚祭が行われるとともに、緊急県会協議会が全議員出席のもと開催され、政府や現地司令官に戦争支持や激励の電報を打っています（『大阪朝日新聞』37・7・22）。また、1937 年（昭和 12）12 月 13 日の南京占領のさい、鯖江第 36 連隊脇坂部隊の光華門一番乗りが喧伝されると、提灯や旗行列などが催されています（『大阪朝日新聞』37・12・14）。しかし、占領の影に虐殺があり反日意識のいっそうの高揚があったことを、県民は知るべくもありませんでした。

局地的戦争では勝利をおさめても中国側の抗戦意識は衰えず、かえって戦線は拡大を続けました。こうした戦争の泥沼化は、戦死者の激増をもたらし、1937 年 7 月から 12 月までに福井県内で応召された 1400 余名が戦死しています（『福井県英勲録』）。

資料の注目ポイント

滝本孝之氏は 1914 年（大正 3）大野郡野向村竜谷に生まれました。1937 年（昭和 12）日中戦争が始まって召集を受け、第二次上海事変、徐州作戦、武漢作戦などに参加しました。この日記は 1937 年 9 月 12 日から翌 1938 年 11 月 19 日にかけて、戦場の状況やできごとを書き記したものです。資料は南京攻略直前の 1937 年 12 月 11 日のものです。

関連資料

名称	概要	備考
「(山砲兵分隊長滝本孝之陣中日記)」	滝本嘉博家文書（当館蔵） J0127-00002	デジタルアーカイブ福井で閲覧可能。 （1937 年（昭和 12）09 月 12 日～1937 年（昭和 12）11 月 15 日） https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-461961-1-p1 （1937 年（昭和 12）11 月 15 日～1938 年（昭和 13）07 月 03 日） https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-461962-1-p1 （1938 年（昭和 13）07 月 03 日～1938 年（昭和 13）11 月 19 日） https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-461963-1-p1
『山砲兵分隊長滝本孝之陣中日記－上海～南京～徐州～武漢三鎮－』	山砲兵分隊長滝本孝之陣中日記を活字化したもの　増田公輔 朝日印刷株式会社　2005 年	福井県立図書館で閲覧、貸出可能
福井県文書館ミニ展示 「従軍兵士の記録」	（山砲兵分隊長滝本孝之陣中日記）や従軍兵士の持ち物などを展示	当館 WEB にて公開中 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/fukui/08/2013exhb/201308mini/201308miniexhb.html

参考文献

・『国史大辞典』　吉川弘文館
・『山砲兵分隊長滝本孝之陣中日記―上海～南京～徐州～武漢三鎮―』　校訂者　増田公輔
・『日本史（ＡＢ共通）　教授資料　研究編』山川出版社